



地域医療連携室だより

Vol. 141



発行元 地方独立行政法人
市立大津市民病院 地域医療連携室
住所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
電話 077-526-8192
FAX 077-522-0192 発行日:2021年2月1日

市立大津市民病院 検索

消化器内視鏡センターのご紹介



ぜん けい か
消化器内視鏡センター センター長:全 圭夏

平素より地域の皆様には当院の地域医療連携にご理解ご協力いただきましてありがとうございます。今回は消化器内視鏡センターをご紹介します。

消化器内視鏡センターは消化管内視鏡検査・治療、胆膵内視鏡検査・治療を行う部門です。現在の施設は総床面積650m²と滋賀県内でも最大規模の消化器内視鏡センターとして2010年8月に開設されました。センター内は上部消化管内視鏡検査・処置用の検査室3室、下部消化管内視鏡検査・処置用の検査室2室に、ERCPなど透視下処置を行う検査室2室を備えており、鎮静下内視鏡検査後のリカバリー室も設置しております。

スタッフは消化器内視鏡指導医3名、消化器内視鏡専門医8名を含む計12名の消化器内科医と、6名の内視鏡技師を含む計14名の看護師・臨床工学技士で、日々健診やスクリーニングの検査をはじめ、一般的な治療内視鏡から高度な最先端の内視鏡治療まで幅広い検査・治療を行っています。昨年は後半、新型コロナウイルス感染症の影響で検査件数がやや減少しましたが、毎年平均9000件以上の検査・治療をこなしています。時間外の緊急内視鏡検査においては消化器内科医師2名と内視鏡担当看護師1名のオンコール体制でERや当直医との緊密な連携のもとに24時間365日対応しております。

消化管の治療内視鏡分野では、消化管出血に対する止血術、狭窄に対する拡張術・ステント留置術、イレウス管留置術、腫瘍に対する内視鏡切除術(CSP、EMR、ESD)、胃瘻造設術、静脈瘤の硬化療法などをおこなっています。ESD(内視鏡的粘膜下層切開剥離術)は食道・胃・大腸に加え、近年は十二指腸腫瘍に対しても導入しており、良好な成績をおさめています。各種の牽引処置具の使用や新しいデバイスの導入などで、治療成績向上や治療時間の短縮が図れております。大腸ポリープに対して2019年度から日帰り大腸ポリープ切除であるCSP(cold snare polypectomy)を導入し、直径9mm程度までの垂有茎性ポリープに対しては検査同日に切除を行っております。胆膵系の検査・処置としては、超音波内視鏡(EUS)や超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)、内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査(ERCP)や管腔内超音波(IDUS)などに力を入れて、悪性腫瘍の早期診断やドレナージ、結石の治療などの低侵襲内視鏡治療を行っています。また術後再建腸管に対する胆膵内視鏡処置が必要なケースも多く、DBE(double balloon endoscopy)を用いて困難なケースにも対応しております。

当院の内視鏡センターは各分野にそれぞれエキスパートがおり、市立大津市民病院内視鏡センターとしてのベストな結果をだすべく、日々のカンファレンスや活発なディスカッションなども行い、チームとして治療にあたっています。地域の先生方におかれましては、スクリーニングの検査はもちろん、難しい対応が必要であるケースもふくめ何でも気軽にご相談いただければ幸いです。スタッフ総力戦でスキルや知識を総動員させ最も適切な処置ができるよう全力で対応いたします。

昨今のコロナ禍においても内視鏡検査・治療のニーズは高いと考えます。当院では問診をはじめとする適切な感染予防対策を行い、今後も積極的に内視鏡検査・治療に対応していきます。個々の患者様に対してのベストな結果をだせるよう、内視鏡検査・治療をスタッフ一同が一丸となりこれからも行ってまいります。今後ともよろしく願いいたします。



当院のがん診療を支えるスタッフのご紹介

当院はがん診療連携支援病院としてがんの早期発見から緩和ケアまですべてのステージの患者様の診療を多職種チームで連携しながら行っています。
今回はその中から2名の薬剤師を紹介します。



薬剤部がん専門薬剤師： あべ ふみたか 阿部 史誉



生涯で2人に1人はがんに罹患する時代となり、がんに関連した治療を受ける方は増加傾向です。近年、様々な分子標的薬の開発が進み、免疫療法やゲノム医療が登場したことで治療成績が向上し、長期で治療を受ける方が増加しているのを実感しています。

しかし、効果もさることながら副作用が多岐にわたるため、これを如何に上手くコントロールするかが治療継続の鍵であり、疎かにしてしまうと生活の質や生命予後に大きく影響します。私はがん専門薬剤師として主に外来化学療法を担当しておりますが、化学療法中の患者さんとの面談や検査データを通じて副作用対策の提案や用量調節の提案を行ったり医師やスタッフから相談を受けたりしながらより良い治療を提供できるよう支援を行っております。

また、院内の化学療法マニュアル作成やレジメン・同意書の審査・登録に携わり、安全な治療を提供するよう努めております。当院の化学療法でご不明な点があればお気軽にお問い合わせ頂ければと思います。

緩和薬物療法認定薬剤師： かんばら りょう 神原 諒



がん対策基本法が施行されて以来、がん治療と同時に進む医療として、緩和医療がより明確に位置付けられました。痛みの治療で使用される医療用麻薬は、なすすべがないから使うものではなく、治療の早期から苦痛をとるために使用することが大切です。近年使用可能な医療用麻薬の種類も多くなってきており、医療用麻薬の適正使用支援などの緩和薬物療法に薬剤師が関わることは重要と考えています。がん医療の進歩やライフスタイルの多様化によりがん患者さんの過ごし方、人生の価値観(死生観)も多様化しているように思います。その中で、患者さんの価値観を大切にしながら、より有効かつ安全な薬物治療ができるよう緩和ケアチームの一員として医師、がん看護専門看護師、公認心理師とともに多職種協働しながら、支援することを大切に日々関わっています。緩和薬物療法は、必要な薬を効果的に用いて、痛みやその他の苦痛を改善し、患者さんが自らの人生を積極的に生きていけるよう支える医療活動であり、少しでも苦痛緩和への支援ができればと思っております。

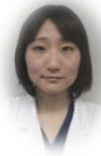
新規採用医師のご紹介

本年1月より新規採用となった3名の医師を本人のコメントとともに紹介致します。皆様どうぞ宜しくお願い致します。



あいば ちなつ
麻酔科 饗場 千夏

主に手術室での麻酔管理をしています。以前にも当院で勤務しておりましたが、これからも地域医療に貢献できるように尽力いたします。
よろしくお願い申し上げます。



いむら なほこ
麻酔科 今村 奈穂子

1月より麻酔科医として赴任しました、今村 奈穂子と申します。
手術を受けられる皆様へ安全な麻酔管理を行えるよう精進してまいります。今後ともよろしくお願い致します。



ひの あつぶ
救急診療科 日野 篤信

令和3年1月より縁あって救急診療科・集中治療部に赴任致しました。当院は滋賀県唯一の第一種感染症指定医療機関であり、COVID-19に対しても積極的に治療を行っております。コロナ禍で大変な時ではありますが、微力ながら大津市、滋賀県の医療に貢献していきたいと思っております。



チームフィッシュ委員会
— パプリカプロジェクト —
 IN Otsu City Hospital

チームフィッシュ委員会ではフィッシュ哲学の下『自ら楽しむ』『喜ばせ』『向き合う』『楽しくする』という取り組みを行っていましたが、今年はコロナ禍で従来の色々な企画が開催できない状況がありました。そこでコロナ禍でも病院職員が少しでも笑顔になれるような企画ということで、「職員みんなで一緒に楽しくパプリカを踊ろう！パプリカプロジェクト」を立ち上げました。パプリカの1曲を各部署に振り分け、フィッシュ委員が日程を決め撮影しました。最初は、みんな緊張しごちない動きや失敗を繰り返していましたが、撮影後半になると緊張もなくなり笑顔で楽しく踊ることができました。

昨年10月20日には、病院屋上にてフィッシュ委員で撮影を行いました。この日は、天候もよく琵琶湖をバックにみんな楽しく踊ることが出来ました。



10月20日 病院屋上にて撮影

地域医療連携室/入退院センターも参加しました



12月15日には、おつ光ルくんにも来ていただいてフィッシュ委員と一緒に撮影を行うことができ、無事クランクアップを迎えることができました。



12月15日クランクアップ 病院玄関にて撮影



2年目研修医 note

- ①名前:水野 紲太
- ②出身大学・卒業年度:
京都府立医科大学・平成 31 年度卒
- ③趣味:サッカー観戦
- ④医師を目指した理由:
親の働く姿を見て
- ⑤どんな医師になりたいですか?:
思いやりがある医師
- ⑥研修医2年目の目標:
出来るだけ様々な科を経験する
- ⑦地域の先生方へのメッセージ:
未熟でご迷惑をかけてしまうかもしれませんが、よろしくお願いします。



Happy Valentine



Love

MSWアイコさん



作・画まきろん



クイズの答え: 1 ページ目左下/2 ページ目右上/3 ページ目右上/左中央/4 ページ目 2年目研修医 note

緩和ケア病棟入院受入休止について

滋賀県を含めた全国的な新型コロナウイルス感染症再拡大の状況下で、一時的に病床運用の変更が必要となりましたため、急遽 1 月 2 日より緩和ケア病棟の入院受入・緩和ケア病棟への入院・転院を目的とした緩和ケア外来へのご紹介を当面の間休止させていただいております。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

発熱外来予約に関すること

発熱外来ご紹介患者様 事前聞き取り票【FAXにてご返信ください】

いつもお世話になっております。発熱外来ご紹介患者様の事前準備のためご協力をお願いいたします。

発熱	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	呼吸苦	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
咳嗽	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	倦怠感	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
咽頭痛	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	味覚・嗅覚異常	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
※接触歴	<input type="checkbox"/> COVID-19 濃厚接触者 <input type="checkbox"/> 最近会食・密集した場所に出かけた <input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> 身边でクラスターが発生した		
来院方法	<input type="checkbox"/> 自家用車 <input type="checkbox"/> 救急車	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 施設の車 <input type="checkbox"/> その他()	

※「診察・検査依頼書」「診療情報提供書」は別途必要になります。よろしく願いいたします。

患者様名: _____

市立大津市民病院 地域医療連携室
FAX: 077-522-0192

この度新たに、発熱患者様用の「事前聞き取り票」を運用することと致しました。ご紹介の際にFAXにてお送りさせていただきますので、必要事項を記入の上、ご返送下さい。ご紹介いただく医療機関の皆様には、お手数をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

事前聞き取り票

原本を同封させていただきますので、ご活用下さい。

※当院の COVID-19 に関する最新情報は、当院 HP にてご確認頂けます。

Happy Valentine 地域医療連携室/入退院センターより

退院支援の相談員をしております看護師の柴原です。

コロナ禍で地域の先生方や関連機関の皆様と直接お会いすることが難しいなか、お電話で励ましのお言葉をいただくことがあり大変感謝しております。電話で退院のお受け入れをお願いすることが多いため、丁寧に患者様の状況をお伝え出来るように心掛けてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

皆様、2/2 は節分です。しっかりと豆まきをして、無病息災や疫病退散を願いましょう!!

地域医療連携室/入退院センター: 柴原 育子

